

執筆規定

1. 言語・用紙・書式

日本語または英語，A4判の用紙を用い，横書きで記載．32字×25行（ダブルスペース）をもって1枚とする．文字の大きさを10.5ポイントまたは11ポイントとする．表紙から文献まで通しの頁番号を明記する．
2. 原稿の形式
 - (1) 表紙（1頁目）
 - (a) 表題（日本語と英語で併記）
 - (b) 投稿区分（原著・事例報告・総説・解説・資料のいずれか1つを選択記載）
 - (c) 著者名（日本語と英語で併記）
 - (d) 所属機関（日本語と英語で併記）
 - (e) 連絡先（連絡著者名，住所，施設名，TEL/FAX，E-mail）
 - (f) 図表の枚数
 - (g) 必要別刷部数
 - (h) 別刷送付・請求先
 - (2) 要旨（2頁目）
 - (a) 表題を記載する．（著者名・所属は記載しない．）
 - (b) 要旨を次頁の表に従い記載する．
 - (c) key words（3語以内，日本語で記載）
 - (3) 英文抄録
 - (a) 原著には英文抄録を必須とし，それ以外の事例報告，総説，解説，資料の英文抄録は任意とする．
 - (b) 表題を英語で記載する．（和文要旨同様，著者名・所属は記載しない．）
 - (c) 要旨はA4用紙を用い，ダブルスペースにて，英文300語以内で記載する．
 - (d) key words（3 words以内，英語で記載）
 - (4) 本文など：次頁の表に示す．
 - (5) 文献：本文中で引用文献に言及した場合，文章の右肩か著者名の右肩に，末尾の引用文献に照応する番号を付ける．3人以上の共著の場合は“ほか”，“et al.”を用いる．

例1：山本¹⁾によれば……………

例2：山本・小林²⁾によれば……………

例3：片寄ほか³⁾によれば……………
- (a) 引用文献の記載順序は本文中の引用順に整理して，本文中の番号と照合する．文献表の著者名は“ほか”，“et al.”と省略せず，全著者名を列記する．人名の記載順は姓を先にして名を後にする．本文中に引用されていない文献は，文献表に記載しない．
- (b) 雑誌から直接引用する場合

番号，著者名：論文表題，掲載雑誌，巻：頁（始頁-終頁），西暦年数の順に記す．

例：加賀谷善教，中條智志：女子バスケットボール選手の年代による身体機能の差～中学生と高校生に対するメディカルチェックの結果から～，*体力科学*，62：207-213，2013．
- (c) 単行本から引用する場合

番号，著者または編者名：章名，書名（章名がある場合は書名をイタリック体にする），版数（括弧に入れる），編者名（章著者がある場合），発行所，発行所の所在地，引用頁，西暦年数の順に記す．

例：福林徹：スポーツ外傷の疫学，*新版スポーツ整形外科学*，南江堂，東京，18-27，2011．
- (d) 訳本から引用する場合

著者名，（訳者名）：タイトル，出版社，地名，ページ，出版年の順に記す．

例：アメリカスポーツ医学協会編（日本体力医学会体力科学編集委員会監訳）：運動処方指針—運動負荷試験と運動プログラム—原著第8版，南江堂，東京，57-108，2011．
- (e) 欧文の雑誌と単行本から引用する場合

例1：Kevern MA, Beecher M, Rao S. : Reliability of measurement of glenohumeral internal rotation, external rotation, and total arc of motion in 3 test positions. *J Athl Train*, 49 (5) : 640-646, 2014.

例2：Loudon J, Bolgla LA, Greer SA. : The Female Athlete. *In : Athletic and Sports Issues in Musculoskeletal Rehabilitation*. (Magee DJ, Manse RC, Zachazewski LE, Quillen WS, eds), Elsevier Saunders, St Louis, USA, 631-650, 2011.
- (6) 図表：説明文をつける．挿入場所を本文に赤字で指定する．

(4) 本文など

	表紙	要旨	英文抄録	本文のみ	文献	図表
原著	1 頁	300 字以内	300 語以内	10 枚以内	30 個以内	8 個以内
事例報告・ 資料等	1 頁	200 字以内	300 語以内	10 枚以内	20 個以内	8 個以内
総説・解説	1 頁	200 字以内	300 語以内	10 枚以内	50 個以内	10 個以内